

春よ来い

暦の上では春ですが、ほど遠い寒い日々が続いております。私の住んでいる岸和田市の山手では、今年3回も雪が積もりました。2月3日の降雪時は、私の近所ではそここの積雪があり、車の上に雪を沢山載せて買い物に出掛けると、なんとほとんどの車には雪のかけらもない状態で、スーパーの駐車場で私の車を見てのある親子の会話ですが、「あっ、あの車雪一杯のつけてる!」「どこから来たんだろうねー?」。と、まるで雪国からでも来たような印象を持たれたのでしょうか?車でわずか15分程の距離なのですが……。2月9日には大阪市内でも11年ぶりに5センチもの積雪があり、「地球温暖化」と言われながらも、この寒さはなんぞや?と、いずれにしても異常気象に違いないでしょう。

この寒さとの因果関係はわかりませんが、たちの悪い風邪が流行っています。お医者さんによると、ノロウイルスの兄弟のようなウイルス製の風邪で、別名「胃腸風邪」とも言うそうです。胃腸などの消化器系にダメージを与え、吐き気や下痢のような症状が3~4日続きます。脱水状態にならないようスポーツドリンク(そのままでは濃いので、2倍に薄める)などの吸収のよい水分を多く取って安静にすると良いとのこと。食事を取ってもそのまま消化されずに出て行くので、無理に取らないほうが胃腸に負担をかけずによいそうです。抗生物質による投薬は腸内の細菌バランスを崩すので、投薬しないほうがよいそうです。私も流行に敏感ですので、この「胃腸風邪」に苦しみ、おかげで詳しくなりました。調子が悪くなってから3日目に点滴を打ってもらったらなんとか回復しました。ご参考までに!

おいしいものを食べられないというのはほんとに辛いもので、ましてや連日テレビで報道される「冷凍餃子事件」。映像を見る度に吐き気がし、余計に直りが遅くなったような気がします。正常な日常生活がいかにありがたいことか、体調が悪くなって初めて気づくことですので、普段から体調には気をつけましょう。私はこれから確定申告の時期になりますので、良い「免疫が形成された」と油断することなく、留意したいと思います。

その体調が悪い最中、確定申告の相談会に他支部の応援でいきました。年金に関する相談が多いので、どうしても高齢者の方が中心になります。ご承知のように、団塊の世代といわれる1947(昭和22)年から1949(昭和24)年生まれの方が、昨年から一斉に定年退職を迎え、中には嘱託で会社に残る方もいらっしゃいますが、年金生活者が一気に増加すると言われていています。相談会場もさぞごった返すのかなと思いきや、時期が早い為か比較的人数は少なかったの、ある意味助かりました。

先日私の子供が通う小学校の校長先生とお話する機会があり、お話を伺っていると、その先生も団塊の世代で、この3月で定年退職だそうです。岸和田市内の小学校の1/3の校長先生が定年退職するとのことで、企業に限らず、学校においてもこの世代が多くの影響を与えているなあと思いました。

その先生は大学を卒業後、初めはいつまで続くかと思いつつも38年間、教師一筋で子供たちと接して来て、ほんとによかったとおっしゃってました。今年度は行事の一つ一つが最後の行事となるので、感慨深いものがあるようです。一方、定年後はやりたいことが一杯あり、現役時代は子供の教育という人に携わってきたので、定年後は物作りに関心を示しておられ、一般的に定年後に皆さんがよく行う陶芸やそば打ち、あるいは炭焼きに関心を持っておられるようです。児童に限らず、教師にも卒業があるということを感じました。

まだまだ寒い日々が続きますが、いろんな意味で「春の来ない冬はない」、春が待ち遠しいですね。